



東京本郷ロータリークラブ週報



2014-2015 年度 国際ロータリーテーマ 「ロータリーに輝きを」

東京本郷ロータリークラブテーマ 「地域社会に密着した奉仕活動を推進しよう。」

創立/平成3年3月13日(1991年)

事務局/〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-9-6-905 電話:03-3238-5350 FAX:03-3238-5352

インターネットホームページ: <http://www.t-hongo-rc.gr.jp> E-mail: office@t-hongo-rc.gr.jp

例会:毎週水曜日12時30分 例会場:ホテルメトロポリタンエドモント 電話:03-3237-1111

〒102-8130 東京都千代田区飯田橋3-10-8

会長:柴山修一 副会長:大住省一 会長エレクト:河合 洋 幹事:松岡 浩 会報委員長:飯田美里

4月1日 第1130回例会

2015年4月1日発行(No.1085)

本日の卓話

「江戸創業金魚卸問屋の
金魚のはなし」

金魚坂 七代目 吉田 智子 様

紹介者 古関伸一会員

次回の例会(4月8日)

地区研修協議会へ
移動例会

於:ハイアットリージェンシー東京

集合時間:10:00

3月25日 第1129回例会報告

卓話

第5回 クラブフォーラム
テーマ「地区研修協議会について」



会長報告

- 元会員 松原一雄さんが3月11日に逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。
お別れの会については既にご案内をいたしましたので、よろしくお願いいたします。
- 繰り返しののご案内になりますが、本日、地区研修協議会についてのクラブフォーラムを開催いたします。
登録者数は650名を超えております。会員各位のご協力をお願いいたします。

幹事報告

- こころの東京革命協会より、会報第42号と小・中学生による作文集をいただきました。
作文集は回覧いたします。
- 2014年11月25日に行われました北分区 合同例会・IMの報告書が届きました。
メールボックスへ配布しましたので、ご確認下さい。
3月23日(月)職業奉仕・社会奉仕合同セミナーが開催され、河合会長エレクトと幹事松岡にて出席しました。
27日(金)次年度地区連絡会がガバナー事務所にて行われます。
松下次年度地区委員長と新里地区研修協議会実行委員長が出席されます。
また、松下会員は28日(土)に開催される第46回ローターアクト年次大会にも参加をされます。よろしく願いいたします。
- 3月24日(火)~4月2日(木)の日程で地区青少年交換委員会によるジャパンツアーがあり、鈴木 風さんが参加をされています。その関係で4月の出席例会は15日となります。来られましたら、ジャパンツアーの様子の報告をいただきたいと思います。

出席

会員数:52名 欠席出席免除者:7名 出席数:33名
欠席数:12名 出席率:73.33%
3月11日修正後出席率:89.36%



PETS の報告をする河合会長エレクト

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

ニコニコBOX

- * 大住省一会員
郷友会初優勝させて戴きました。あすなる会から幾星霜やっと100の壁に到着。小出さん、鶴岡さん有難うございました。
- * 加藤利雄会員
7回目の年男になって、感無量です。
- * 松岡 浩会員
お誕生日祝い、ありがとうございます。
- * 柴山修一会員
誕生日のお祝いありがとうございます。63歳になりました。
- * 長久保スミ子会員
桜が咲く頃になって、花粉症で困っています。
- * 山路敏之会員
郷友会、ぎっくり腰でキャンセルすみません。大住さんの優勝を心からお祝い申し上げます。

ニコニコBOX	24,000円
累 計	960,400円

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

「難民の再出発を支える平和フェロー」

<https://www.rotary.org/> より
(この記事は、The Rotarian2月号から抜粋されたものです。)

世界では、10分に一人の割合で、国籍を持たない子どもが生まれています。シリア、南スーダン、中央アフリカ共和国やその他の国での紛争によって、難民や行き場を失った人たち、亡命を求める人たちが増えています。さらに、自宅に帰れないまま、ときには10年以上もの長い間、亡命生活を余儀なくされる家族も増加しています。国連難民高等弁務官事務所が創設された第二次世界大戦の終結後以来、5,000万人が戦争や紛争によって家を追われたと言われています。2002年に始まったロータリー平和センター・プログラムの約900人の卒業生の中には、増加するこれらの難民の再出発を支援し、変化の推

進者として活動しているフェローがいます。ロータリー平和フェローシップは、タイ、オーストラリア、英国、日本、スウェーデン、米国にあるロータリー平和センターで学ぶ学生（毎年100名まで）にロータリーが奨学金を提供するものです。プログラムには、タイのチュラロンコーン大学での3カ月の修了証プログラムとオーストラリア、英国、日本、スウェーデン、米国の大学での修士号プログラムがあります。難民を支援する非政府組織や非営利団体に働く4人の元フェローが「The Rotarian」に経験談を語ってくれました。

日本からケニアへ

寺西悦子さん：クイーンズランド大学、
2005-07年のフェロー

大阪での大学生活とは何か違ったことをしたいと切望していた寺西悦子さん。世界をこの目で見たい、そして人びとの役に立つ仕事をしたいと考えていました。

そんな寺西さんは、2005-07年にクイーンズランド大学のロータリー平和センターで学び、現在は、国際移住機関（International Organization for Migration）でプロジェクトマネジャーを務めています。ケニアのナイロビで危機対策ユニットを率いる寺西さんですが、このユニットは昨年、コンゴ民主共和国、エチオピア、ルワンダ、ソマリア、南スーダンからの難民、内戦と自然災害によって住宅を追われたケニア人40,000人を支援しました。「職のない若者や性的暴力の被害者をサポートするのが私たちの仕事です」と寺西さんは話します。

その他、ソマリアからエチオピアへ「マハマド・アフマドさん：ブラッドフォード大学、2008-10年のフェロー」、レバノンからカナダへ「ノエル・ディパプさん：クイーンズランド大学、2003-05年のフェロー」、米国からマレーシアへ「ランガン・コートニーさん：チュラロンコーン大学、2012年のフェロー」のお話しが掲載されています。続きは<https://www.rotary.org/> をご覧下さい。

本日の例会にて、

ロータリー財団寄付	0名	0円
米山特別寄付	2名	20,000円

のご寄付をいただきました。
ありがとうございました。